

研究協力のお願

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

回復期病棟における整形外科術後患者の疼痛コントロールがリハビリテーションに及ぼす影響	
1. 研究の対象および研究対象期間	2020年4月から2024年3月までの間に昭和大学藤が丘リハビリテーション病院回復期リハビリテーション病棟（2階病棟および4階病棟）に入院した整形外科術後の患者さん
2. 研究目的・方法	回復期リハビリテーション病棟に入院している整形外科術後患者の痛みのコントロールが、リハビリにどのような影響を及ぼすかを明らかにします。 研究方法は、対象患者の診療録より患者背景、処方情報、リハビリテーション情報、術式、麻酔手技、入院中のNRS（患者さんが感じている痛みを数字で表したもの）、在院日数、薬剤師の介入記録を調査し、痛みがリハビリに及ぼす影響を明らかにします。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	診療録情報から患者さんの背景（性別、年齢、BMI、骨折部位、診療科、入院目的となった疾患名、入院日、退院日、既往歴）、患者の処方情報（持参薬情報（入院時に服用していた薬剤）、退院時の処方）、術式、麻酔手技、リハビリテーション情報（機能的自立度評価表スコア、1日のリハビリ時間）、入院中のNRS（患者さんが感じている痛みを数字で表したもの）、薬剤師の介入記録（薬剤師記録）
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません
6. 研究組織	研究責任者 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院薬局 昭和大学薬学部病院薬剤学講座 三井 奈緒

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院薬局

氏名：三井 奈緒

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1

電話番号：045-978-6770